

第3種郵便物認可

～散歩がてらアートに親しもう～

ダム湖畔にもアートが出現一。綾川町粉所東の田万ダム周辺で、県内外の芸術作家らによる野外造形展が開かれている。同町に拠点を置くNPO法人が初めて開いた展示会で、作品は湖畔の山間道約2キロ区間に配置。来場者は緑の中のウォーキングを楽しみながら、自然と一体のアート作品に興味深く鑑賞している。10月2日まで。



麻ひもなどで人の「抜け殻」を表したインスタレーション
作品一綾川町粉所東

曲がりくねった湖畔道では、カーブを抜けるたびに各作品が次々と出現する。空き缶を加工した「金属葉っぱ」の群生、間伐材を削って作ったかまくらう、麻ひもやワイヤを人の形に巻いて「人の抜け殻、過疎化」を表したものなど、どれも

ダム湖畔で造形展

NPO法人
綾川で初開催

作家や地元児童ら出展

造形展は「アートトレッキングIN粉所」と題し、NPO法人・かがわものづくり学校(理事長・倉石文雄・香川大教育学部教授)や地元住民らが、毎年開いている芸術祭の一環として開催。田万ダム東沿いの道を舞台に設定し、作家14人のインスタレーション(空間芸術)作品14種類のほか、地元の子どもが制作したかかしなどを飾っている。

個性豊か。ダムの水門の下にある遊歩道は一部が銀色の素材で覆われ、木陰に異空間が広がっている。

倉石理事長は「瀬戸内国際芸術祭などアートで香川が盛り上がる今、海に豊かさをもたらす山の魅力と、山の中の芸術にも関心を持ってほしい」としている。19、26日には各日午前10時～正午、作者と一緒に回る鑑賞トレッキングを開催。地元産直市も出店する。問い合わせは同学校〈087(878)0921〉。